

第161回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成30年11月

日時: 2018年11月30日(金) 18:00-19:30

場所: 神奈川大学 24号館 310号室

◆主催: 防災塾・だるま

司会: 早川雅子 記録: 紅林敏行

◆談義の会参加者: 会員19名(含む講師)

一般3名 計22名 (敬称略)



土橋さん(講師)



福田さん(講師)



左(講演会場の模様)



右(早川さん(司会))

話題: 『地域防災への取組み』～座間市防災計画、避難所運営委員会の開設状況等～

講師: 土橋 忠敬氏 座間市自治会総連合会副会長・防災部長、座間市防災推進委員、防災塾だるま会員

地元の『座間市地域防災計画(2017年2月)』の概要、避難所運営委員会の開設状況、マツヨリの強みと弱みを理解した自主防災組織のあり方、座間市災害時避難行動要支援者支援制度の取り組みについて解り易く講演。 座間市:人口129,425人、人口密度7,366人/km² (2018年10月1日現在)

◆避難所運営委員会の開設状況

- 座間市: 23箇所の広域避難場所、35箇所の避難所
- 『避難所の開設』・・・施設の安全点検と開錠
避難所開設担当者(市職員)、施設管理者(学校(校長・教頭・教務主任等)、コミュニティー(委員長、防災担当者))が従事。
- 『避難所運営委員会の設置』
市、施設、地域で構成する避難所運営委員会を設置。過度に行政に依存しない自治会等の連携による避難所の運営体制の構築を目指す。避難所運営委員会を組成し、地域と施設に合致したマニュアルづくりと避難所開設・運営訓練等に取組む。2018年度中に全35箇所の中の内、20箇所の避難所で運営委員会の開設を予定。今後、自治会総連合会で避難所運営のマニュアルの統一に取組む予定。

◆『マツヨリの強みと弱みを理解した自主防災組織のあり方』 (参考)座間市自主防災組織マニュアル

- 既存の消防計画書に自主防災組織等の計画を取り込む。
- 自主防災組織が出来ること(安否確認と情報提供)を明確にして、それ以外は居住者が実施するルールを策定し、周知。
- ◆『座間市災害時避難行動要支援者支援制度』
○座間市では2009年から災害時要援護者登録事業に取組み、13地区の自治会連合会ごとに『登録者名簿の受領』を展開。
○現在、自治会総連合会が『登録者名簿の受領』を後押し。2018/8末の名簿受領88自治会、要支援者人数665人
○自治会役員研修大会で名簿受領に関するアンケートを実施。「受け取っていない」自治会へ継続して対応予定。

話題: 『海老名災害ボランティアネットワークの歴史と現状』～災害救援ボランティアセンター～

講師: 福田 博氏 海老名災害ボランティアネットワーク代表、防災塾だるま会員

阪神淡路大震災でのボランティア活動をした人たちを中心に結成された『海老名災害ボランティアネットワーク(海老名災ボラ)』(2001/12結成)のこれまでの被災地支援活動、平時の災害救援ボランティアセンターのスタッフ養成等の活動、福田さん個人の災害ボランティア活動、そしてこれからの課題等について講演。

◆『海老名災害ボランティアネットワーク』

- 『災害ボランティアコーディネーター』の育成、並びに災害ボランティアコーディネーターとしての活動組織の構築等を目的として活動。
- 新潟・福島豪雨水害、新潟県中越沖地震、東日本大震災、利根川水害、熊本地震、西日本豪雨災害での被災地支援活動に参加。東日本大震災では『ボラティアガス』に参加し、被災地支援活動を活発に展開。
- ◆主な平時の活動
○海老名市で『災害救援ボランティアセンター』が設置された時にセンターのスタッフ(『災害ボランティアコーディネーター』)として動ける人材を養成する講座を社協と共催で毎年1回実施。
○2018年の『ビュルキューかながわ』へも参加。
○『体験型講座:減災対応訓練(家具転倒防止等)』等を開催。

◆福田さん個人の災害ボランティア活動

- 2011年海老名災ボラへ加入し、東日本大震災の被災地・被災者支援活動に参加。以降、神奈川県『神奈川避難者見守り隊』、宮城県内の障がい者福祉施設の支援、南相馬市社協が開催した『傾聴ボランティア』活動に参加。
- 実行委員会を結成し、2013年から『福島と海老名の子ども交流キャンプ』を毎年開催。市民からの募金で運営。
- ◆課題等
被災地・被災者支援活動は復興の進展と共に、支援機能が誰でもできる集团的ボランティア活動から専門性を活かすボランティア活動へと変化。『福島と海老名の子ども交流キャンプ』の募金も集まりにくい状況に。また、新たなボランティアの担い手の育成、自治会等の自主防災力の向上を図る支援活動の拡充も課題。

●次回(第162回)案内・『「防災塾・だるま」会員の活動紹介(3)』

- ・日時:2018年12月21日(金)16時~17時30分
- ・会場:神奈川大学 24号館 310号室
- ・話題:『「防災の課題と対策」を考える意見交換会』(講師:釜石 徹氏:災害対策研究会主任研究員、マツヨリ防災士・家庭防災士)